

問6 カード・冊子体目録

問6 (1-1) カード・冊子体目録の作成と提供について [必須]

	公共図書館										大学図書館等													
	都道府県立		市区立		町村立		私立		計		国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計	
	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合
1.カード・冊子体目録を作成している	39	97.5%	376	64.2%	133	36.2%	5	62.5%	553	55.2%	173	88.3%	40	44.9%	358	72.2%	82	75.2%	44	74.6%	8	72.7%	705	73.4%
2.当初から、作成も提供もしていない	1	2.5%	210	35.8%	234	63.8%	3	37.5%	448	44.8%	23	11.7%	49	55.1%	138	27.8%	27	24.8%	15	25.4%	3	27.3%	255	26.6%
回答館数	40	100.0%	586	100.0%	367	100.0%	8	100.0%	1001	100.0%	196	100.0%	89	100.0%	496	100.0%	109	100.0%	59	100.0%	11	100.0%	960	100.0%

「1. カード・冊子体目録を作成している」には、過去に作成していた場合も含む。

以下、問6(3)まで、問6(1)で「1. カード・冊子体目録を作成している」と回答した館のみ回答した。

問6 (1-2) カード・冊子体目録の作成と提供の状況

	公共図書館										大学図書館等													
	都道府県立		市区立		町村立		私立		計		国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		高等専門学校		その他		計	
	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合	館数	割合
1. 以前と同様に維持・更新しているもの																								
a. カード	1	3.7%	2	0.7%	0	0.0%	1	20.0%	4	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.4%	1	1.3%	1	2.4%	0	0.0%	6	1.0%
b. 冊子体	1	3.7%	16	5.4%	2	1.6%	1	20.0%	20	4.4%	2	1.3%	1	3.1%	5	1.7%	5	6.5%	0	0.0%	0	0.0%	13	2.1%
c. 両方	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
2. 一部に限定して維持・更新しているもの																								
a. カード	2	7.4%	7	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	9	2.0%	5	3.2%	1	3.1%	12	4.1%	1	1.3%	1	2.4%	0	0.0%	20	3.3%
b. 冊子体	7	25.9%	45	15.3%	3	2.4%	0	0.0%	55	12.2%	2	1.3%	1	3.1%	16	5.4%	2	2.6%	1	2.4%	0	0.0%	22	3.6%
c. 両方	2	7.4%	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	32	10.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	32	5.3%
3. 凍結したものの																								
a. カード	0	0.0%	17	5.8%	4	3.2%	1	20.0%	22	4.9%	21	13.5%	2	6.3%	16	5.4%	8	10.4%	0	0.0%	1	12.5%	48	7.9%
b. 冊子体	17	63.0%	41	13.9%	4	3.2%	0	0.0%	62	13.8%	23	14.7%	1	3.1%	22	7.5%	1	1.3%	2	4.9%	2	25.0%	51	8.4%
c. 両方	7	25.9%	13	4.4%	3	2.4%	1	20.0%	24	5.3%	25	16.0%	3	9.4%	37	12.6%	1	1.3%	3	7.3%	2	25.0%	71	11.7%
問6(1)に1.と回答した館数	27	100.0%	294	100.0%	124	100.0%	5	100.0%	450	100.0%	156	100.0%	32	100.0%	294	100.0%	77	100.0%	41	100.0%	8	100.0%	608	100.0%

「3. 凍結したものの」は、更新はしないが、利用者に提供しているものを指す。

問6 (1-3) その他上記に当てはまらない場合 [自由記述]

有効な回答数は119（公共64、大学55）あり、うち約半数（公共26、大学18）が「廃止した」と回答した。残り半数（公共23、大学24）は「過去に作成していたが現在利用者に提供していない」と回答している。その他、「郷土資料」「貴重書」「事務用」など特定の資料に対して内部運用の目的で維持・管理しているという回答があった。

問6 (2) カード・冊子体目録の作成、提供の対象となっている資料の種類 [自由記述]

有効な回答数は299（公共135、大学164）あり、公共と大学で傾向が異なった。公共では「郷土・地域資料」が公共全体のうち30%(40)と最も多く、「視聴覚・障害者サービス用資料」も大学では全体の4%(7)にとどまるのに比して、公共では全体の16%(24)を占めた。これに対し大学では、「貴重・特殊コレクション」が全体の50%以上(86)を占め、古典籍、個人文庫など、研究資源としての希少資料の管理のためカード・冊子体が維持・管理されていることが分かった。

問6 (3) 現在もカード・冊子体目録を作成、提供している理由 [自由記述]

有効な回答数は232（公共101、大学131）あり、公共と大学で傾向が異なった。公共は40%(40)が「読書会用図書などの利用促進のため」等、「利用者・業務ニーズ」を理由としてカード・冊子体を維持・管理している。大学では「遡及・未登録対応」が全体の50%(65)を占めている。また、「ユニークな（固有の）請求記号付与を維持するため」等、事務利用のために維持・管理しているという意見もあった。回答にはブックリストを冊子体目録として回答した例も見られた。